

都城市民会館 再生活用をめざすシンポジウム

市民会館を未来へつなぐ

都城市民会館は平成 19 年に閉館され、平成 21 年より 20 年間、南九州大学に無償貸与されましたが、諸般の事情でこれまで未利用な状況が続き、南九州大学が都城市に市民会館を返還することになりました。試算によると再生に 40 億円という膨大な費用が必要との説明がされましたが、一般社団法人日本建築学会が検討した結果、8 億円程度で再生可能な方法を提案しています。その内容を古谷誠章日本建築学会長より 解説するとともに建築家青木茂「リファイン建築 - 建築はよみがえる」(仮題)、元菊竹建築研究所所員・家 遠藤勝勸「都城市民会館の設計」(仮題) について講演、意見交換を予定しています。

(解説) 古谷誠章 (日本建築学会会長・早稲田大学教授)
(講演) 青木 茂 (青木茂建築工房・建築再生活用の第一人者)
「リファイン建築 - 建築はよみがえる」(仮題)
(講演) 遠藤勝勸 (元菊竹建築研究所・市民会館の設計担当者)
「都城市民会館の設計」(仮題)
是非ご参加下さい。(講演内容は一部変更の可能性があります)

11 月 24 日 (土) 14:00 - 16:00

都城市総合福祉会館 2 階会議室

都城市松元町 4-14

主催 一般社団法人日本建築学会 都城市民会館再生活用計画検討特別委員会

当日先着順 200 名 (参加無料 公共交通機関でご来場下さい)

問い合わせ先：都城工業高等専門学校 林田研究室 0986-47-1239

鹿児島大学工学部建築学科 鯨坂研究室 099-285-8291